

ENOKI

えのき

榎町地域センター まつり



BINGO!

平成30年10月28日(日)
午前10時～午後4時
会場：榎町地域センター

我が町 ③ 市谷柳町



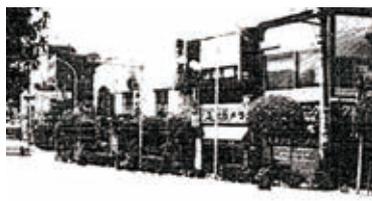
《柳町の由来》

新宿区発行の町名誌その他によれば古くは市谷村(この辺一帯の町名には市谷と付けられている)のうちであり、今の大久保通りの北側には寛文以前すでに町屋があり寛文12年(1672年、約330年前)の頃は川田久保といわれる窪地であったからである。

正徳3年(1713年、約280年前)市街地となった。町の東南(外苑東通り東側四谷)に向かい左側は清内屋敷といひ元禄15年(1720年)鈴木清内が幕府から拝領し町屋としたものであり、明治4年川田久保町そして清内屋敷が合併して市谷柳町となった。

《近藤勇と試衛館》

かの有名な新選組の局長、近藤勇が通った道場・試衛館があったといわれる。それは父親の近藤周助が調布から柳町に移りすみ道場を開いた。そこへ調布の在の農家、宮川の三男として生まれた勇がかよい、そしてこの養子となり近藤の姓となった。天然理心流の4代目を継いだ。この道場のあった場所は判然としないが古地図による柳町と甲良屋敷の現柳町25番地と甲良町にわたるあたりであったらしい。土方歳三、沖田総司も通っていた。



昭和45年 柳町交差点(柳町鉛公害の年)

《縁日》

昭和5年頃には外苑東通りには小さなドブ川が流れていた。古くは薬王寺の方から水が早稲田たんぼ(早稲田大学)に注いでいたものだと言われたが、すぐにコンクリートの管となった。今、みずほ銀行のあたりに2つの私設市場(柳町市場と都市市場)があり食料品や日常雑貨品を売っていた。宗円寺のお地藏さんとお稲荷さんの縁日が出た。

宗円寺にある回り地蔵の信者の講の日だった。外苑東通りが盛んな頃はかなりの店が出て夏にはバナナや西瓜のたき売りがあり、バナナは今では考えられない安さであった。それは当時台湾が日本の国土の一部であったためである。

この縁日もいつのまにか、車が多くなったのか廃止となった。

《柳町稲荷大明神由結》

その昔、柳町20番地の奥に観音様をお祀りした高徳院という大きな寺院がありました。江戸時代、太田道灌が高田馬場から面影橋にかけて鷹狩りにお出掛けの節、帰途高徳院に御立寄り参拝後休息した時、御信仰、御愛蔵の御稲荷様を御安置してゆかれたとの伝説を古き人々より伝え聞かされて居ります。

その後、寺院も高田の方へ移り観音様も他所(不詳)に御遷座、其際現在の位置に祠を建て御稲荷様を残して行ったと言ひ伝へられて居ります。

寺院と観音様が有ったので古い人は未だに「お観音様の横丁」と言つて居ります。

大正5年頃、王子稲荷の講中の人で弁天町に在住の人(職業大工さん・氏名不詳)よりお言伝けがあり、柳町稲荷様が、誰がお移したのか、御神体お自らお移りしたのか、王子稲荷様の所に居られますが柳町にお帰りになりたいとお告げを柳町有志に話しに來られました。早速有志一同相談を致し、会議の結果、お迎えをする事に決、広く賛助者を募り、祠の修理に着手、敬神講を作り発足。昭和7年8月頃(と記憶)講中2、30人の有志が団扇太鼓を鳴らし乍ら、弁天町の中程迄、御神体をお迎いに於て、柳町通りに入り現在地(柳町21番地)に御安置お祠りいたしました。四寸位の御神体が蓮座にお乗りに成ったお姿と併せて女性姿の人形が白狐に袴り、冠はこわれ、尾ははげで居りました。早速浅草稲荷町の修理商に依頼して修理致し、初午祭り、納め午祭りの行事には有志が集まり付近に小灯笼5、6個を掲げて御供物5、6百袋位を作り(当時1袋30銭位)町内で近隣のお子様の参拝者に配り当日は縁日も出店しお賽銭も相当ありました。当時、お地藏様とお稲荷様の御縁日として毎月6回の夜店がたち町も活気に溢れ盛大なものでした。(昔懐かし御縁日)



平成12年12月12日 大江戸線 牛込柳町駅 開業



平成12年12月10日 大江戸線開通セレモニー 開業



大江戸線開通イベント 駅構内 市谷小学校



昭和45年3月2日 最後の都電



平成12年7月 七夕祭(サンバ)



わいわい広場



わいわい広場

早稲田小学校「給食試食会」

8月30日(木)早稲田小学校の家庭科室にて、一年生の保護者を対象に、PTA主催の給食試食会が開催され、総勢34名の保護者が参加いたしました。

当日の献立は、冷やしスタミナうどん、かぼちやの包み揚げ、かぶの三色漬け、牛乳です。栄養士の先生からは、給食に使用する食材は、原則国産の素材を使用し、必ず加熱調理したものを提供、加工食品は使わない、前日調理は行わずすべてその日に調味料の計量から調理を行い、また食材も当日使い切る量を購入搬入している、ということをお願いし、安全と健康のための徹底されたこだわりを伝えられました。

保護者で配膳にも挑戦しました。全員に行き渡るようにおそる、というのなかなか難しいものです。うどんは配膳直前に麺をほぐすためのだし汁が添え



られ、麺が氷でよくひやされており、栄養士の先生や調理スタッフのみなさんの細やかな配慮に感激しました。保護者からは「美味しい！」そして「意外と量があるね！」という声が多くあがっていました。また、磁器のお皿を使用していることに、「丁寧にお皿を扱えるようになって、いいね。」という声がありました。

朝早くから全校児童500名以上の調理、給食後には洗浄や、明日の調理に向けての衛生管理という業務多量な中でも冷たいものは冷たく、温かいものは温かく「美味しい給食を提供して下さる努力に、頭の下がる思いです。役割分担をして配膳をすることや、限られた時間の中で食べること、新しい食材や料理を知ることや、作ってくださる方々の温かさを知ること。給食の時間も重要な学びの時間であるということがよく分かりました。

給食試食会の実施にあたり、調理スタッフの皆さま、栄養士の先生、ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

榎ふれあいクッキング 榎地区協議会地域ふれあい部会

7月22日(日)、榎町地域センターにて、小学生対象の料理教室を開催。食育の環境として調理体験を通し、食事の大切さ、作る楽しさを理解し興味を高めてもらい、自立の一助となる事を願って実施しました。地域の方々にご指導いただき、23名が一日シエフに挑戦。調理室の熱気の中、定期的に水分補給。火や油に注意し、野菜の洗いや、卵の割り方、猫の手包丁の使い方等を教わり、みんなで協力しあって可愛くまさんオムライス・にんじんスープ・コーンサラダ・白玉みたらし団子が完成。出来栄に大満足！

きれいに配膳し、料理を前に一人ずつ記念撮影。食への感謝(生産者・親・動植物の命を頂く事)をし、いただきました。量が多いかと思いましたが、1年生が最初に完食。自分で作るとおいしさ倍増のよう。

最後に講師から、笑顔の写真が貼られた修了証書が一人一人に手渡されました。帰宅の際の注意を促し解散。お迎えの家族に自慢気に修了証書を見せていました。



自分たちで作った料理に大満足の子どもたち。修了証が授与され、会場は拍手に包まれました。

体験型安全教室 榎地区協議会安全安心部会

7月14日(土)、安全安心部会主催で「体験型安全教室」を開催しました。その名も「防災ミッション」。身近なところで起きるかもしれない「もしもの時」を想定したミッションを体験していただき、**防**災と**防**犯に対する意識作りのきっかけとなれば...という思いで企画しました。今回のミッションは3つ。

① AED講習では、人形とAEDのデモ機を用いて装着方法や心肺蘇生法を1人ずつ体験しました。

② 護身術レッスンでは、緊張をほぐす方法や呼吸法などにはじまり、腕をつかまれたらどう逃げるか...など実際の場面を想定して、実践的な体験をおこなっていました。

③ 震災体験談と備蓄食の講話では、阪神淡路大震災の被災者が避難所での実際の体験をふまえ、家庭や会社や学校など、それぞれの「コミュニケーション」における備えの重要性を話しました。

参加者からは、「体験しながら学べてよかった！」などの声をいただき、今後、さらに、地域の防災防犯意識向上のために、「出張防災ミッション」も行っていければと思っています。



ドキドキのAED体験!
「そうそう、力の入れ方もいいね。」

子ども防災キャンプ

早稲田地区
青少年育成委員会



7月8日(日)、子ども防災キャンプを開催しました。小学生27名、大人63名が参加して防災訓練を行いました。

牛込消防署早稲田出張所にて子ども用の消防服を着用したり、装備の重たいポンベを背負い消防出動を体験して消防の仕事を知りました。消防車の運転席にも乗りました。

鶴巻南公園の会場では、水消火器、D級消火ポンプを実際に使い消火訓練を行いました。また、ポンプ式浄水器を使い、プールなどにある貯水をきれいな水に変える方法を学びました。鶴巻南公園地下の応急給水施設を見学し、災害時には地下に貯蔵された水が簡易水道の蛇口から出ることを知りました。また、起震車に乗って震度6強の地震を体験、テーブルの下で身を守る方法を学びました。榎町地域センターでは、119番通報の訓練、AEDの扱い方を教えてもらいました。

また、牛込警察署の署員から夏休みを安全に過ごすための防犯の心得を学びました。災害時に食するアルファ米を昼食にいただきます。おいしかったらしく、殆どの子がおかわりしていました。



牛込二中えんにち

早稲田地区
青少年育成委員会

7月21日(土)「牛込二中えんにち」を牛込第二中学校にて催しました。牛二中学生たちが、地域の子どもたちに「夏の緑日」を楽しんでもらおうと企画し、実施したものです。今回は「カレーライスを楽しむ会」も同時に催したので、540名と過去最高の参加者数となりました。

生徒たちが作ったカレーライスやかき氷、ポップコーン、ソースせんべいなどの模擬店、また、輪投げやペットボトルのボーリング、ヨーヨー釣り、水鉄砲的当てなどの遊びに人気がありました。将棋やトランプ、オセロゲームにも人が集まり、子ども大人も一緒に楽しみました。

体育館では吹奏楽部による力強く美しい演奏、英語部による素晴らしい英語劇も披露されました。ここでも中学生が考案したオリジナルゲームに子どもたちが夢中になって挑戦していました。

来年三月には「昔あそび・もちもちの会」でお餅つきをやります。皆さん、遊びに来てください。



僕らの町にはまつりがある

「おまつりって、どんなもの」古川秀富さんを講師としてお招きした授業は、こんな問いから始まりました。本校としては昨年引き続き古川さんをお招きしての「おまつり」を題材にした授業です。問いに対する子供たちの反応は、「屋台がいつばいある」「大人が上半身裸でみこしを担いでいて、みんな汗をかいている」「盆踊りや阿波踊りのように一緒に踊ってみんながつながれるもの」「見ている人も楽しませてくれる」等、様々でした。

それらに対して、古川さんからは

① おまつりにはいろいろなものがある。

② 自然への尊敬や、作物の豊作を祈ること。

③ 始まりは奈良時代。

④ おみこしは、おまつりを表現する手段



要するに私たちは、いろいろな人やもののおかげで生きています。それらに感謝をしたり、強い意識をしたりしてつながりを感じる事ができるのが、おまつりの本当の意味なのだと思えていただきました。特に模型の御神輿を使つての説明には皆興味津々でした。担任の先生から、「今日の授業で感じた事がある人手を上げて」の声に、ほとんどの子ども達が挙手し、思いの感想を述べていました。

授業の最後に、「みんな、町のみこしをかついでね」とメッセージがありました。自分の育っている町のおまつりで、いろいろな人とつながれることに感謝できる子供たちであつてほしい、と私も強く感じました。

地域のお祭りで踊る子どもたち

六年目となる地域協働学校の取組の一つとして、地域のお祭りで三・四年生の児童が踊りを披露する機会をいただいています。

元々は、地域のお祭りを盛り上げるために、子どもたちの参加が話題となりました。どの学年がどのような参加ができるのか検討したところ、運動会で民舞を踊っていた三・四年生の踊りがお祭りにぴったりのごとで決まったそうです。

これまで、

平成二十五年年度「牛仲ソーラン」

平成二十六年年度「阿麻和利」

平成二十七年年度「ヨツシヤ 来い！」

平成二十八年年度「ミルクムナリ」

平成二十九年年度「牛仲ソーラン」

と歴代の三・四年生が、市谷亀岡八幡宮を氏神とする地域の夏祭りの日に、住吉町共栄町会と住吉町会の会場で、その雄姿を披露してきました。

ところが、今年度の三・四年生が運動会で演じた表現運動は、民舞とは異なるボールを使つたリズムダンス「友よ」でした。そのため、地域の方から、「商店街の路で踊るのは難しくはないですか。」という心配のお声をいただきました。

そこで、夏休み前の七月に、三・四年生の有志が集まり新しいパートナーとフォーメーションを組み直し、商店街パレードの練習を四回行いました。八月五日当日、三十度を超える猛暑の中、体育着姿で集合し、細長いフォーメーションを組んでいよいよスタートです。



大きく広がりながらも、遠くの仲間と心をつないで、音楽に合わせてボールを操り最後のポーズを決めました。会場のお客様や応援の保護者の方、主催の地域の方、サポーターのPTAの皆さんから大きな拍手をいただき、大満足の経験となりました。日頃お世話になっている地域の皆さんに貢献しながら、成長の機会となるこの取組を、伝統として続けていきたいと思えます。



小学校対抗 ドッジボール大会

地区内小学校対抗「ドッジボール大会」を早稲田小学校を会場に開催します。小学生低学年（一年生から三年生）と高学年（四年生から六年生）の部に分かれ、10名位のチームを編成して試合を行います。優秀な成績を取めたチームには賞状と金・銀・銅メダルが授与されます。

ご家族の応援もよろしくお願いいたします。

日時

11月23日(祝) 9時～12時頃

会場

早稲田小学校 体育館と校庭

*雨天時は全試合を体育館で行います。

集合

早稲田小は学校に8時30分

鶴巻小・江戸川小・牛込仲之

小は各学校に8時15分

対象

早稲田・鶴巻・江戸川・牛込

仲之小学校 全学年

申込み

11月13日(火)まで

各学校に申込みください。

*詳細については、学校から配布されるお知らせをご覧ください。

主催 早稲田地区青少年育成委員会

榎町特別出張所

スポーツ交流 お知らせ

ユニカールと輪なげ

ユニカールは特殊カーペットの上で、ストーンを滑らすように投げ、円形の目標地点により近づけることを競うゲームです。

両チームがそれぞれ3個のストーンを目標地点に向かって交互に滑らせて相手のチームのストーンを弾き飛ばし、自分のストーンを目標に近づけます。

初めての方でも気軽にできます。

日時

① 10月21日(日)

② 11月4日(日)

③ 11月18日(日)

④ 12月2日(日)

⑤ 12月9日(日)

⑥ 1月6日(日)

⑦ 1月20日(日)

⑧ ⑦ 10時～12時

会場

榎町地域センター
4階多目的ホール

事前の申込みは必要ありません。
当日、会場にて参加を受け付けます。
運動のしやすい服装で上ばきを持参ください。

問合せ 黒川 孔晴

TEL 03(3268)1777

主催 わせだスポーツ・文化協議会

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

26

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします。

1. 平成30年度牛込地区高連 福祉演芸大会

平成30年6月4日(月)新宿区牛込筆筒区民センターにおいて開催され、牛込地区のクラブおよび地域交流館から21組が参加しました。

榎地区からは次のクラブが参加し、日頃の練習の成果を披露しました。(出演順)
・フォーダンス 原一あゆみ会10名。

・合唱 水の原クラブ12名、あかぎ友の会15名、弁天町和老クラブ15名、

早稲田長寿会6名、柳町すみれ会13名、薬王寺長寿会17名、

西鶴クラブ10名、第一・第二友鶴会10名、早稲田永楽会12名。

2. 平成30年度牛込地区高連 輪投げ大会

平成30年5月27日(日)鶴巻小学校体育館において、参加25チームで開催された輪投げ大会に、榎地区の次の高齢者クラブが参加しました。

上位入賞は次のとおりです。

第4位 早稲田長寿会(218点)、第5位早南クラブ(209点)、

第7位 榎町友の会(203点)、が上位に入賞しました。

おめでとつございます。

他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)

・弁天町和老クラブ・山吹会・原一わらく会・早稲田永楽会・早稲田クラブ

・西鶴クラブ・薬王寺長寿会・第一友鶴会・柳町すみれ会・第一友鶴会。

3. 平成30年度区高連「将棋大会」の成績

平成30年7月1日(日)に開催された第60回将棋大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。おめでとつございます。(敬称略)

Aクラス

第三位 副島 健 九段(薬王寺長寿会)

4. 平成30年度区高連「囲碁大会」の成績

平成30年7月15日(日)に開催された第60回囲碁大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。おめでとつございます。(敬称略)

Aクラス

第三位 山住 静江 三級(水の原クラブ)

(以上、資料提供:牛込地区高齢者クラブ連合会)

榎町地域センターまつり

榎町地域センターは、地域の皆様のご支援のおかげで17年目を迎える事が出来ました。今回の地域センターまつりも、皆様

に楽しんでいただけるような催しをたくさんご用意しています。ご来場を心よりお待ちしております。

日時：10月28日(日)

午前10時～午後4時

会場：榎町地域センター(全館)

主催：榎町地域センター

管理運営委員会

協力：榎町地区協議会

早稲田青少年育成委員会

2階

指圧・建物耐震
明るい選挙

WEバスPR・お茶席

日赤・地区協パネル展示

トリックアート

えのき文芸展示

4階 多目的ホール

オープニングセレモニー・和太鼓

夏目漱石暗唱コンクール表彰式

子ども達・登録団体のダンス

舞踊・合唱

ビンゴゲーム大会

3階

子ども遊びコーナー

おもちゃ病院

手作りコーナー

健康チェック

介護服展示

ごみ分別エコクイズ

1階

沼田市物産販売・野菜販売

肉まん・花鉢販売

焼き菓子販売

模擬店出店

地下1階

模擬店販売・休息所

ゲームコーナー

包丁研ぎ・子ども工作教室

リフォーム相談

育成会パネル展示

地域センターからのお知らせ

○そば打ち教室

日時：11月15日(木)

午前の部 10時～12時

午後の部 1時～3時

募集：午前・午後、各6名

場所：榎町地域センター3階調理室

参加費：1000円

申込み：参加費を添えて榎町地域センター

2階受付にお申込み下さい。(先着順)

*エプロン・頭巾・タオル(きれいな物)

蕎麦を持ち帰る容器(お菓子の空箱等)をお持ち下さい。

○年忘れカラオケ大会

日時：12月16日(日)

午前10時～午後4時

会場：榎町地域センター4階多目的ホール

参加費：300円

募集：72名

申込み：11月20日(火)

午前10時より、榎町地域センター

4階多目的ホールにて受付

*申込書は10月17日(水)より榎町地域センター

2階受付にて配布します。

○新春えのき寄席

日時：平成31年1月20日(日)

午後3時～5時(予定)

会場：榎町地域センター4階多目的ホール

入場料：1000円

定員：120名

出演：春風亭 正朝

春風亭 正太郎

*チケットは12月上旬より榎町地域センター

2階受付にて販売予定です。

問合せ：榎町地域センター事務局
電話 03(3)202(8)5855

えのき文芸



大道に大往生の蟬ありき

青木 久彌

荒壁に夕日当りて蔦紅葉

大籠 紀子

盆が来て母の愛情懐かしく

加藤 斗志夫

百日紅猛暑の街で咲き誇る

加藤 理君

悲しみの極みの記憶敗戦日

軽部 とみ子

曼珠沙華蒼穹深くなりけり

川口 あきを

髭剃って秋めく貌となりけり

北野 明治

水やりに声かけ萩の花美咲き

北村 妙子

迎え火の渦巻く焰風を呼ぶ

木村 かづこ

無理をせず風に従うスキの穂

滝口 泉

雷神の激怒の下にひれ伏しぬ

梨平 美沙子

天高し叶わぬ夢もあって佳し

原 綾

花火より店の明かりに集まる子

水上 香子



晚酌後見上ぐる夏の月淡し

昨日戦友が鬼籍に入れり

青木 久彌

行く夏を惜しむがごとく鳴く蟬の

はかなき命しるやしらずや

奥瀬 イチ

掃き寄せし落葉に昨夜の雨染みて

すぎゆく秋の匂いをはなつ

加藤 千代子

夏草のそこにここに鳴くすずむしの

暑き夜に照る弓張月かな

金成 光祥

ワイシャツの釦なかなか治まらぬ

われを励ますもうひとりのわれ

中村 道雄

秋近くジャパンブルーの空高く

飛行機雲は西に棚びく

山口 敏子



雨と風台風銀座賑やかに

改憲し核でも持つか安倍首相

菅野 あきら

つまずいた石に行方を教えられ

堅実をモットーにして無理をせず

小山 一湖

蚊も蟻も猛暑で蟬も昼寝する

八十路でもやる気出た出た習い事

田実 孜

イケメンも笑えば前歯抜けている

大籠 紀子

酔っ払い夢の中でももう一杯

滝口 泉



秋の花

フヨウ(芙蓉)
夏から秋、淡紅色又は白色の花を開くアオイ科の落葉低木。葉は手の平状になる。

広報部からのお知らせ

「家族の肖像」「技の伝承」の企画記事に登場いただける方の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は「冬」、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、12月10日(月)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
Tel(3202)8585
FAX(3202)2478